

参加作家・機関（順不同）

久保田晃弘+QIQB、平川紀道、ARTSAT プロジェクト（久保田晃弘 | 平川紀道 | 稲福孝信）、逢坂卓郎、落合陽一、江渡浩一郎+アラレグミ、安藤英由樹+田中成典、古澤 龍、森脇裕之、片岡純也+岩竹理恵、藤本由紀夫+永原康史、田中ゆり+有賀昭貴+パヴレ・ディヌロヴィッチ、吉本英樹、JAXA 宇宙科学研究所（ISAS）/ 天文仮想研究所(VSP) / 東京藝術大学、アンリアルレイジ、Useless Prototyping Studio、種子島宇宙芸術祭実行委員会、量子芸術祭実行委員会 他

作品資料

文部科学省「一家に1枚 量子と量子技術」、科学・芸術領域の先駆者資料、量子コンピュータ関連資料 他

展示のみどころ

1 拡張するアートのフロンティア

いつの時代にも、何かを超えようと試みることはアートの重要な役割です。宇宙への旅が日常となりつつあり、量子研究が次の100年へと向かう今、領域を拡張しようとする作家たちの多様な試みを紹介します。

2 貴重な映像によるインスタレーション、アーカイブ

宇宙や量子の研究に基づくデータ可視化・可聴化の試みを、ダイナミックな映像インスタレーションとして展示します。また、導入展示では、戦後からEXPO'70の前後にかけて、科学と芸術の両域において先駆的活動を展開した科学者・芸術家らの貴重な資料を、現在に重なる特異点として紹介します。1970年の大阪万博がいわば「古典コンピュータアートの黎明」であるなら、今回展示される、2025年の大阪・関西万博で発表された作品群は、国産量子コンピュータによる「量子コンピュータアートの黎明」と言うべき試みを創出しています。

3 体験型展示・イベント

メタバースやゲームの形式で宇宙や量子を体感できる作品群やXR展示、流転を続けるインフィニティ空間や、宇宙から届くミュオンやニュートリノを身近に感じさせる試みを展開します。また会期中には、参加アーティストや協力機関の研究者・開発者らが、アートとサイエンス/テクノロジーについて、「かさねあわせ・もつれ・かんそく」など、量子的な概念に基づく創造的思考について語りあいます。

関連事業

講堂などを会場に、参加アーティスト・研究協力者・学芸員によるトーク、作品上映、ワークショップ、国内外の協力機関・芸術祭等との企画連携によるイベントやサテライト展示等を会期中に開催します。

※内容・参加方法などの詳細は展覧会ウェブページに順次掲載いたします。

展覧会概要

展覧会名	ミッション∞インフィニティ 宇宙+量子+芸術
会期	2026年1月31日(土) - 5月6日(水・振休)
休館日	月曜日(2月23日、5月4日は開館)、2月24日
開館時間	10:00 - 18:00 (展示室入場は閉館の30分前まで)
観覧料	一般1,800円 / 大学生・専門学校生・65歳以上1,260円 / 中高生720円 / 小学生以下無料
会場	東京都現代美術館 企画展示室 B2F、ホワイエ他
主催	東京都現代美術館 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
共催	CG-ARTS (公益財団法人 画像情報教育振興協会)
助成	オーストリア文化フォーラム東京
協力	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 他
問合せ	03-5245-4111 (代表)
担当学芸員	事業企画課企画係 森山朋絵

同時期開催展

ソル・ルウィット オープン・ストラクチャー 12月25日(木) - 2026年4月2日(木)

Tokyo Contemporary Art Award 2024-2026 受賞記念展「湿地」 12月25日(木) - 2026年3月29日(日)

開館30周年記念 MOT コレクション 12月25日(木) - 2026年4月2日(木)

エリック・カール展 はじまりは、はらぺこあおむし 2026年4月25日(土) - 7月26日(日)

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134 (直通) / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報用図版 ※すべて参考図版

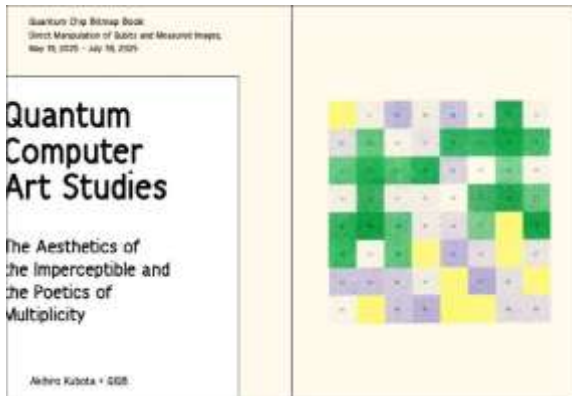
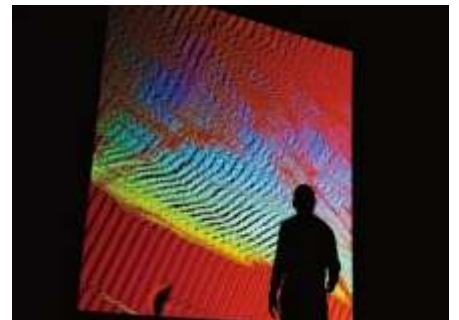
広報用図版として12点をご用意しております。画像の利用は、展覧会の広報・紹介を目的とする新聞・雑誌その他のメディア（デジタルメディアを含む）の記事内の使用に限ります。お貸出しをご希望の方は、下記の貸出条件をご確認の上、必要事項とあわせて図版番号をメール（mot-pr@mot-art.jp）にてご連絡ください。

*その他、本リリースに掲載していない作家・作品図版もございますので、ご希望の作家・作品があればお問い合わせください。

必要事項 御社名／ご担当者名／貴媒体名（ジャンル）／発売・放送予定日

貸出条件

- 画像には作品情報（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト）を併記してください。
- 画像のトリミング、文字載せ、色彩変更、編集その他の改変は不可です。
- 記事の掲載前に校正原稿をお送りください。また、記事の掲載後には掲載誌（紙）、ウェブサイトのURL、DVD、CD等をお送りください。
- 記事の転載その他のお貸出しした画像データの二次使用はお断りしております。使用後はかならずデータを削除してください。



(上段左より) 2、3

(中断左より) 4、5

(下段左より) 6、7



お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134（直通） / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：<https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



(上段左より) 8、9 (下段) 10、11、12

作品情報

- 1 展覧会メインビジュアル デザイン：永原康史
- 2 落合陽一《リキッドユニバース II》 2024 年
- 3 平川紀道《datum》 2016/2025 年
- 4 久保田晃弘+QIQB『Quantum Computer Art Studies』より表紙 / 《Two Humans 250718》 2025 年
- 5 逢坂卓郎《生成と消滅》 2025 年
- 6 アンリアレイジ《PLANET》 2022 年
- 7 安藤英由樹+田中成典《量子生命閃視（せんし）》 2025 年
- 8 古澤 龍《Mid Tide #3》 2024 年
- 9 片岡純也+岩竹理恵「KEK 曲解模型群」より《すり抜ける紙飛行機》 2017/2025 年
- 10 理化学研究所《量子コンピュータ XR》(制作：ライノスタジオ) 2025 年
- 11 吉本英樹《DAWN》 2023 年 Photo: 板東成留
- 12 Useless Prototyping Studio《Black Hole Recorder》 2021 年

お問い合わせ：東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・内堀・永田・大塚

TEL：03-5245-1134（直通） / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp URL：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。